

ニュース・パトロール

酪連の新首脳部決まる

岡山県酪連では、7月5日、岡山県農業会館で役員会を開き、会長、副会長の互選を行った。その結果、会長には惣津律士氏が再選され、副会長には流郷章雄氏（北部酪農組合）、出射了氏（旭東酪農組合）、難波典雄氏（賀陽町農協）が選出された。

卵価補償8月1日より実施 岡山県経済連全販連制度に同調

岡山県経済連では昨年の長期にわたる卵価の大暴落に対して、独自の鶏卵価格補償制度を設け実施していたが、その後基金不足から廃止された形になっていた。そこで、新しい補償制度を準備中であった同連では、全販連が実施する「鶏卵需給安定制度」に全面的に同調して、8月1日から実施することになった。

全販連の実施計画によると、契約出荷者はキロ当たり1円の搬出金を払い、全販連で基金制度も作って管理する。対象は常時100羽以上飼育している農家で、卵価がキロ当たり160円（全販連大阪市場1級高値）を下廻った額だけを支払うものである。

（山陽新聞 7月9日）

酪農三法説明会開かれる

岡山県畜産課では、さきの第48国会において可決成立した、原料乳不足払い制度を中心とした酪農三法の説明会を、岡山県農業会館にて開いた。

7月8日には県関係者を、9日には酪農組合関係者を、12日にはメーカー関係者を招き、説明がなされたが、これを機会に岡山県酪農の一層の発展が期待される。

いよいよ畜産コンサルタントうごきだす。